

主 催  
公益財団法人 日本ビフィズス菌センター

# 第23回 腸内細菌学会

## 発表演題募集・プログラム

メインテーマ

---

# 腸内細菌と健康

## —消化管を起点とした宿主の恒常性維持—

---

開催日 2019年6月18日(火)・19日(水)

会 場 **タワーホール船堀**  
東京都江戸川区船堀 4-1-1

大会長 **芹澤 篤** (雪印メグミルク株式会社)

事前参加費 会員 6,000円 一般 10,000円 学生 1,500円  
当日参加費 会員 8,000円 一般 12,000円 学生 2,000円  
(予稿集：会員・一般・学生無料配布、当日別売 2,000円)

腸内細菌学会ホームページ <https://bifidus-fund.jp/>

# 一般演題 A (ポスター発表)・B 申込要領

2019年1月31日(木)まで

本年度は、発表+ポスター発表の **一般演題 A** と発表のみの **一般演題 B** の2種類の募集となります。

常在・病態菌叢およびその生態・分類・意義・腸管免疫・食品微生物・プロバイオティクス・プレバイオティクスなどに関する研究の発表を下記の要項に従ってお申し込みください(メインテーマと関連がなくても結構です)。

本大会の一般演題は、大会1日目午前中に【一般演題A】(8分程度の口頭発表[質疑応答含む])と、【一般演題B】(12～15分程度の口頭発表[質疑応答含む])を2つの会場で並行して行う予定です。一般演題Aは口頭発表に加え同日午後のポスター発表もあり、若手研究者による発表や、シーズあるいは萌芽的な研究の発表を歓迎致します。なお、一般講演Aの中から本センター選考委員によって優秀な発表と評価された発表者に対して「最優秀発表賞」(表彰状および副賞)が贈られます。

① 申込方法 ・ 抄録用原稿を E-Mail にてお送りください。メール本文には「一般講演 A での発表希望」なのか「一般講演 B での発表希望」なのかを必ず明記してください。

## ② 作成要領

❗ 要旨および発表スライドには、会社名、製品名の使用は避け(自社製品は除く)、成分名等にて記載ください。

【一般演題 A】 ・ 2019年6月18日現在で40歳未満の方を対象とします。

- ・ 抄録用原稿は MS-Word で作成してください。
- ・ 用紙の大きさは A4 1枚とし、上部に演題名・英文タイトル・演者(○をつける)・共同研究者の氏名および所属を明記してください。
- ・ 本文の長さは和文1,000文字または英文550ワード内とし、「目的、方法、結果、考察」の順で記入してください。
- ・ 抄録用原稿は、第23回腸内細菌学会のホームページから抄録用フォーマット(Wordファイル)をダウンロードして作成してください。
- ・ 締切：2019年1月31日(木)必着にて事務局までお送りください。

和文タイトル  
英文Title

○腸内太郎<sup>1</sup>，腸内花子<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>腸内大学研究所，<sup>2</sup>株式会社 腸内細菌

【目的】…

【方法】…

【結果】…

【考察】…

【ポスター】 ・ サイズは横 90 cm × 縦 180 cm 以下で作成してください。

- ・ 学会当日(6月18日)の9:50までに1階ポスター会場に掲示してください。(詳しい作成要項は発表者に別途通知いたします)。

- 【一般演題 B】 ・抄録用原稿は MS-Word で作成してください。
- ・用紙の大きさは A4 1 枚とし、上部に演題名・英文タイトル・演者 (○をつける)・共同研究者の氏名および所属を明記してください。
  - ・本文の長さは和文 1,000 文字、または英文 550 ワード内とし、「目的、方法、結果、考察」の順で記入してください。
  - ・抄録用原稿は、第 23 回腸内細菌学会のホームページから抄録用フォーマット (Word ファイル) をダウンロードして作成してください。
  - ・締切：2019 年 1 月 31 日 (木) 必着 にて下記事務局までお送りください。

### ③ 発表時間

#### 【一般演題 A】 6 月 18 日 (火) 小ホール (予定)

大会第 1 日目午前中のセッションでの発表 (8 分程度の口頭発表 [質疑応答含む]) と同日の午後にその講演のポスター発表 (全体で 30 分ほど [質疑応答あり]) となります。  
※同日に行われる情報交換会にて、最優秀発表賞の表彰を行います。

#### 【一般演題 B】 6 月 18 日 (火) 大ホール (予定)

大会第 1 日目午前中のセッションでの発表 (12～15 分程度の口頭発表 [質疑応答含む]) となります。

※発表時間は変更になる可能性がありますのでご了承ください。

### ④ 申込先および事務連絡先

公益財団法人 日本ビフィズス菌センター事務局  
〒170-0002 東京都豊島区巢鴨 1-24-12  
TEL 03-5319-2669 FAX 03-5978-4068  
E-Mail アドレス jbf@ipec-pub.co.jp  
ホームページ <https://bifidus-fund.jp/>

### ⑤ その他

発表方法 (ポスターの様式を含める) や時間などは採択後に発表者にご連絡します。  
なお、演題の採択は学術委員会の審査を経て、大会長が判断いたしますのでご了承ください。

また、当財団では論文投稿、学会発表において利益相反 (COI) についての開示を必要とすることとなりました。恐縮ながらご発表に際し、「利益相反 (COI)」について必要であればご提示をお願い致します。

当財団の「利益相反 (COI)」開示方法については、「公益財団法人日本ビフィズス菌センターホームページ」→「当センターについて」→「利益相反 (COI) について」をご参照ください ([https://bifidus-fund.jp/aboutcenter/pdf/about\\_coi.pdf](https://bifidus-fund.jp/aboutcenter/pdf/about_coi.pdf))。

# 学会スケジュール (予定)

6月18日 (火)

第1日

9:55～10:00 開会の挨拶

大会長 芹澤 篤 (雪印メグミルク株式会社)

10:00～12:00 一般演題 A ショートプレゼンテーション (小ホール)

10:00～12:10 一般演題 B 発表 (大ホール)

※一般演題 B の申込が多数の場合は、一部午後に行う予定です。

(12:00～13:30 昼食休憩)

13:30～13:42 一般演題 B 発表 (大ホール)

14:00～15:00 海外特別講演

**Koen Venema** (Centre for Healthy Eating & Food Innovation,  
Maastricht University, The Netherlands)

“Next Generation Probiotics – pitfalls and possibilities”

15:10～16:00 特別講演

**福土 審** (東北大学大学院医学系研究科行動医学)

「機能性消化管障害と腸内細菌」

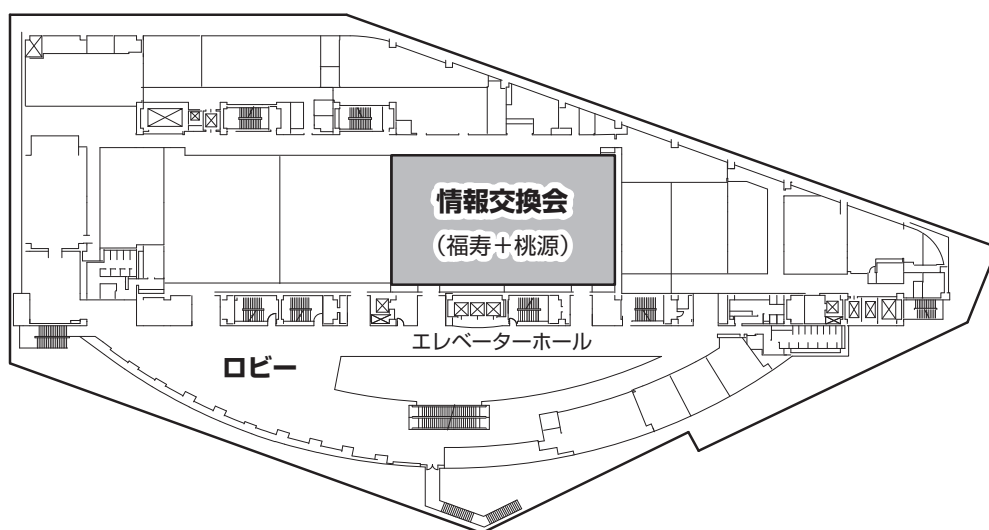
16:10～17:10 一般演題 A ポスター発表 (会場：1階 展示ホール)

午前の部に行ったショートプレゼンテーションのポスターを用いた  
質疑応答タイム

17:30～19:00 **情報交換会**

(会場：2階 福寿+桃源)

皆様奮ってご参加ください。



## 市民公開講座～腸内フローラの基礎と臨床～ (小ホール)

15:00～17:00 (開場 14:30)

**平山 和宏** (東京大学大学院農学生命科学研究科獣医公衆衛生学教室)

『腸内フローラの仕組みと役割』

**山下 智也** (神戸大学医学部附属病院 循環器内科)

『腸内細菌と生活習慣病』

9:30～11:45 シンポジウム1 『腸内細菌による脳神経系制御の可能性』

---

- ① **波平 昌一** (国立研究開発法人 産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門)  
「腸内細菌による成体神経新生の恒常性維持機構」
- ② **清水 金忠** (森永乳業株式会社 基礎研究所)  
「*Bifidobacterium breve* A1 によるアルツハイマー病モデルマウスの認知機能改善の可能性」
- ③ **大野 欽司** (名古屋大学大学院医学系研究科・神経遺伝情報学)  
「パーキンソン病は腸管神経叢を起源とし腸内細菌叢が発症に関与する」
- ④ **栃谷 史郎** (鈴鹿医療科学大学保健衛生学部)  
「母と子をつなぐ周産期母体腸内細菌の子の脳発達における働き」
- ⑤ **功刀 浩** (国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 神経研究所)  
「うつ病と腸内細菌」

(11:45～13:15 昼食休憩)

13:15～13:25 日本ビフィズス菌センター研究奨励賞授賞式

---

13:25～13:45 受賞講演

---

13:45～16:00 シンポジウム2 『外的要因による腸内フローラ制御』

- ① **永田 尚義** (国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 消化器内科)  
「日本人の大規模メタゲノム解析からみた腸内細菌叢と  
病気・薬剤使用との関連」
- ② **國澤 純** (国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所)  
「アレルギーにおける食と腸内細菌の相互作用の理解と  
近未来型健康科学への挑戦」
- ③ **森田 英利** (岡山大学大学院環境生命科学研究科 応用動物科学コース)  
「“運動”が腸内フローラに及ぼす影響」
- ④ **西平 順** (北海道情報大学医療情報学部)  
「ヒト介入試験による食品の機能性評価と腸内細菌の解析」
- ⑤ **朝原 崇** (株式会社ヤクルト本社中央研究所)  
「シンバイオティクスによる周術期感染制御  
ー腸内細菌叢・腸内環境の重要性ー」

16:00～16:10 閉会の辞

### 投稿のお願い

本学会でのご発表の内容を和文誌『腸内細菌学雑誌』または日本ビフィズス菌センター・日本乳酸菌学会・日本食品免疫学会の合同英文誌『Bioscience of Microbiota, Food and Health』へご投稿ください。原稿の種類は、原著・総説・ノート何れでも構いません。BMFH誌は2018年3月にSCIE (Science Citation Index Expanded) への掲載が決定しました。これによりBMFH誌にImpact Factorが付くこととなりました。2018年のImpact Factor発表は2019年に行われる予定です。



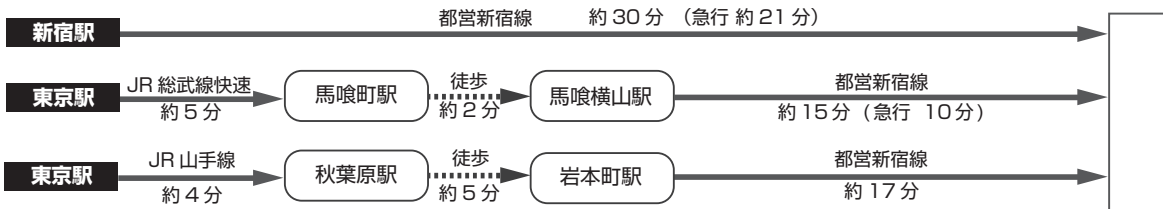
# 交通アクセス・マップ

## タワーホール船堀

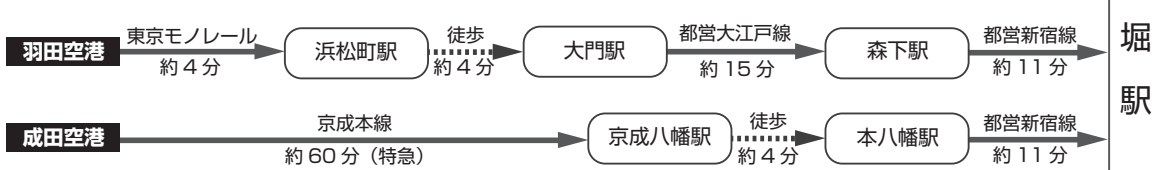
タワーホール船堀までのアクセス (東京都江戸川区船堀 4-1-1)

都営新宿線【船堀駅】より徒歩 約 1 分

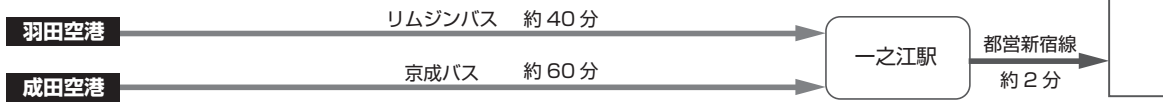
● 電車をご利用の場合



● 空港から電車をご利用の場合



● 空港からバスをご利用の場合

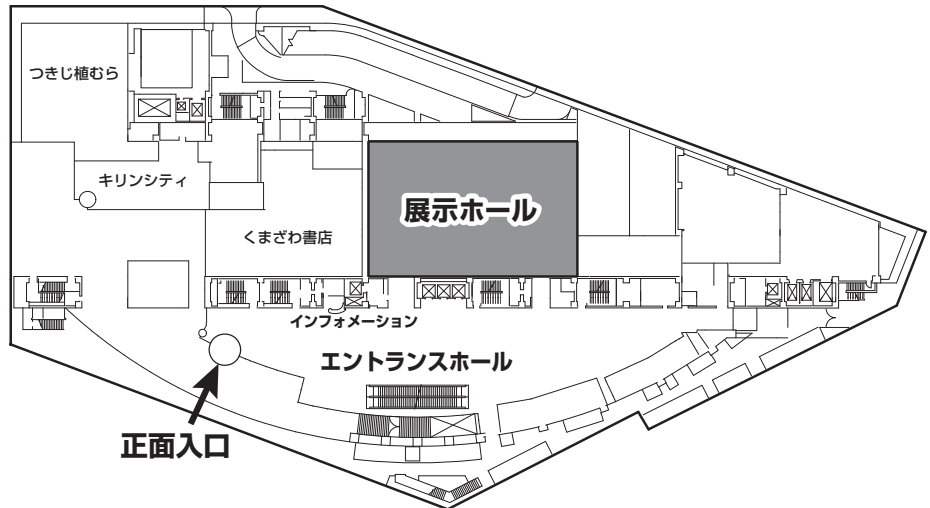


タワーホール船堀

### 会場案内図

1 F

- ・ポスター会場
- ・企業展示
- ・製品提供
- ・インターネットコーナー



5 F

- ・講演会場
- ・シンポジウム
- ・市民公開講座

